

今期業況天気図

今期業況天気図

期間:令和2年10月～12月(売上・採算・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

全業種総合の天気図は「雨」。推移をみると、令和2年10月～12月期の総合業況DIは▲43と、前期▲52から9ポイントの改善。前期から今期は「雨」のままの改善。業種別では、建設業が13ポイントの大幅な改善、製造業も9ポイント、飲食業・サービス業および小売業・卸売業が6ポイントの改善であった。新型コロナウイルス感染症の影響が遅れて来た製造業・建設業は回復が遅れ、小売業・卸売業や飲食業・サービス業は行政による各種の支援策の効果もあり回復傾向にあるが、依然としてすべての業種で「雨」が続いている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲ 46	▲ 60	▲ 43	▲ 37	▲ 42
採算	▲ 45	▲ 56	▲ 38	▲ 40	▲ 43
仕入単価	▲ 22	▲ 21	▲ 26	▲ 31	▲ 17
販売単価	▲ 17	▲ 19	▲ 22	▲ 12	▲ 16
従業員	10	▲ 2	28	4	13
資金繰り	▲ 29	▲ 36	▲ 23	▲ 21	▲ 31
今期業況 (総合判断)	▲ 43	▲ 54	▲ 34	▲ 37	▲ 44
今期業況 天気図					

業況天気図凡例					<<景観観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。
快晴  DI値 31以上	晴れ  DI値 30～11	薄曇り  DI値 10～▲10	小雨  DI値 ▲11～▲30	雨  DI値 ▲31以下	

参考)今期業況天気図の推移

	全産業	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
3四半期前 令和2年1月～ 3月期					
2四半期前 令和2年4月～ 6月期					
1四半期前 令和2年7月～ 9月期					
今期 令和2年10月～ 12月期					

次期見通し業況天気図

次期見通し業況天気図

令和3年1月～3月(売上・採算・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しの天気図は、今期に引き続き「雨」。

産業別にみると、製造業が14ポイントと大幅な改善を見込み、小売業・卸売業も6ポイント、飲食業・サービス業も2ポイントの改善の予想である。建設業は±0ポイントで変わらない見通しである。回復の遅れていた製造業で、ようやく業況が回復基調に向かうとみられている。

とはいえ、すべての業種でDI値が▲以下の低位安定の状況が続くとみられており、小売業・卸売業では再度業況が悪化に転じると見られている。

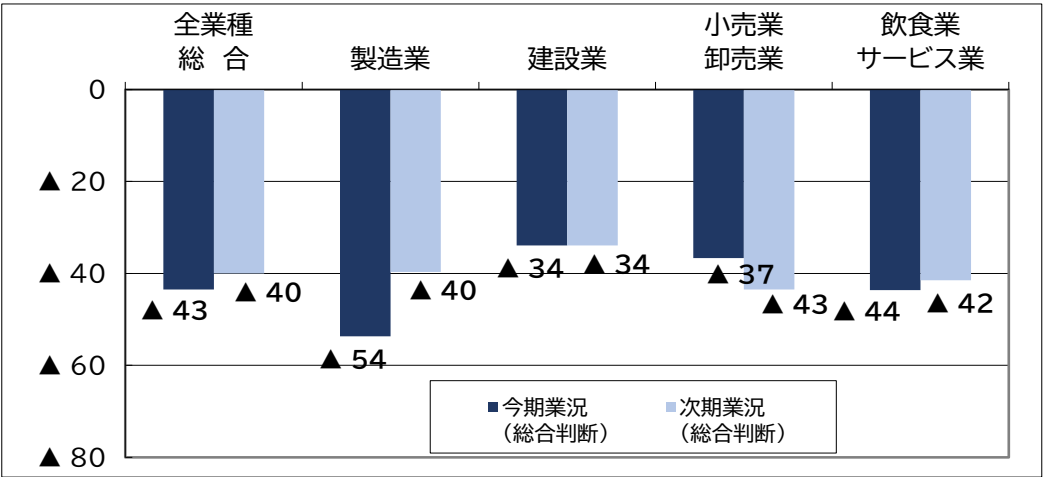
	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲ 43	▲ 37	▲ 37	▲ 48	▲ 47
採算	▲ 40	▲ 40	▲ 36	▲ 43	▲ 41
仕入単価	▲ 21	▲ 20	▲ 25	▲ 30	▲ 16
販売単価	▲ 17	▲ 19	▲ 20	▲ 11	▲ 17
従業員	8	▲ 1	22	1	12
資金繰り	▲ 28	▲ 28	▲ 26	▲ 34	▲ 28
次期業況 (総合判断)	▲ 40	▲ 40	▲ 34	▲ 43	▲ 42
次期業況 天気図					

業況天気図凡例

快晴  DI値 31以上	晴れ  DI値 30～11	薄曇り  DI値 10～▲10	小雨  DI値 ▲11～▲30	雨  DI値 ▲31以下
---	--	--	--	---

<<景気観測調査>>
前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。
「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

参考) 今期と次期の業況DI



業況DIの推移

業況DI(前年同期比)の推移

全産業の業況DIは、前期▲52から▲43(前期差9ポイント増)と前期に続き改善。

産業別にみると、製造業▲54(前期差9ポイント増)と改善に転じ、建設業が▲34(前期差13ポイント増)、飲食業・サービス業は▲44(前期差6ポイント増)、小売業・卸売業が▲37(前期差6ポイント増)と、前期に引き続き改善した。ただしすべての業種でDI値は▲31以下であり、以前として厳しい状況であることが読み取れる。

前期に引き続き、今期はコロナウイルス感染症の勢いが一時的に治まり、GoToトラベル、GoTo イートなどの経済対策で消費活動がやや戻り始めた形である。そのため年末から始まった再度の営業自粛の強化の影響が懸念される。

全国との比較では、いずれの業種も全国のほうが回復が早かったが、そのペースは落ち始めている。市内の事業者のほうは、今期になり回復が本格化した状況である。

(平成29年10-12月期～令和2年10-12月期、前年同期比)

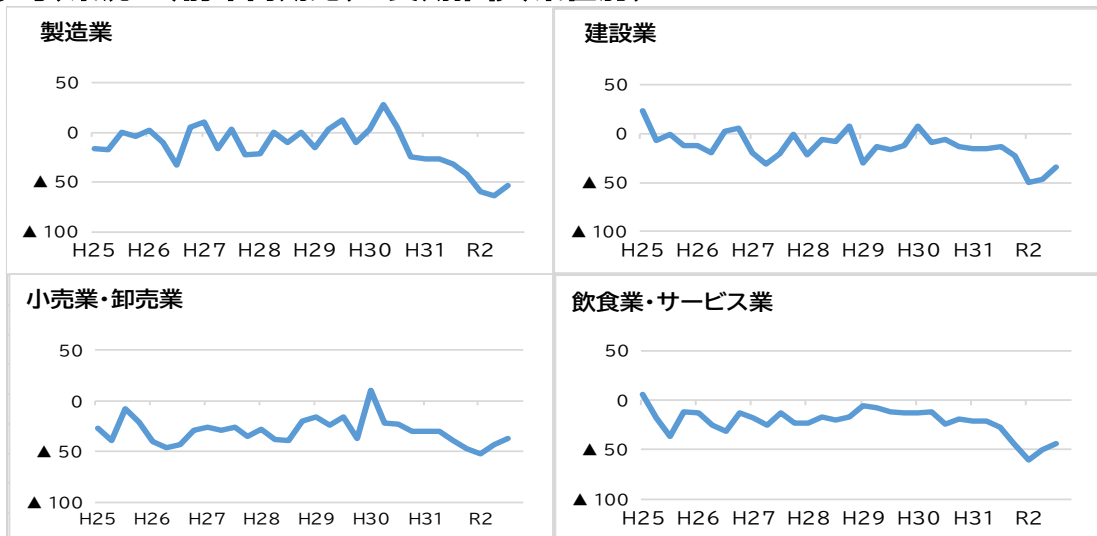


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「業況判断 DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※業況DIについて、当所では「総合判断」、中小企業庁は「業況(自社)」を質問項目としている

参考)業況DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



業況DI（特徴的なトピックス）

産業別に寄せられた特徴的なトピックスは以下のとおりである。

【製造業】

- ・エレベーター改修事業の延期に伴う製作減少が売上に響く。【エレベーター用ハーネス組立】
- ・コロナの影響による受注減少のため、従業員の仕事がなく手が余っているが、短納期の受注などが入ってくるため、従業員を休業させることができない。【電気機械器具製造】
- ・自動車メーカー各社の回復が夏時点での予想より早く改善されてきた。【自動車用塗料の製造販売】
- ・野菜相場が低迷している関係で、昨年より売上増加が厳しいと感じております。【もやし、カット野菜】
- ・今までに経験したことがない、50年に一度の不況。【機械加工】
- ・10月の39キャンペーンで仕事あり。その前後良くない。【置替】

【建設業】

- ・一般顧客が出費に対して慎重になっていて契約が取りづらい。【一般建築物の屋根、外壁、板金工事業】
- ・感染対策で現場の効率低下が原価アップになりつつある。【空調衛生設備工事】
- ・来年度の公共工事の減少。【工事業】
- ・今期後半はコロナで心配していましたが、今のところ受注は変わりませんが、人手不足をどう考えたらいいか。【鉄骨金物】
- ・新型コロナウイルスの影響で建設業界も工事量が減少したうえ、現場内で一人でも感染すると全業種全員が自宅待機になり、工事がストップする状況で、感染の当事者になった場合の弁償等のことも心配です。【鉄筋工事業】

【小売業・卸売業】

- ・コロナ禍により消費の低下を感じています。SNS を利用して購入する機会も増えているため、その影響は大きい。【化粧品、衣類販売】
- ・飲食店の廃業が増えている。【業務用酒類販売】
- ・公共交通を使いたくない分、自動車の販売は上がっている。【自動車ディーラー】
- ・在宅消費増により BtoC(Web 注文、通販)の売上好調が続いている。【健康食品の販売(玉ねぎ皮茶など)】
- ・国の給付金や市の39キャンペーンが売上拡大に影響した。【寝具用品小売、羽毛ふとん他リフォーム】

【飲食業・サービス業】

- ・全体の来客は回復しつつあるが、同伴するゲストの数が戻らないため、平均価格が下落している。【サービス業】
- ・開発の引き合いは増えているが、受注、入金に至るまでの時間が長いため資金繰りは悪化している。【自律移動ロボットの開発、協働ロボットの Sler】
- ・ビジネス需要わずかに伸び。観光悪化。【ホテル】
- ・在宅勤務が可能であるとわかった。【税理士業】
- ・コロナ禍の影響で展示会の中止、延期が続いているため大変に厳しい状況です。【企業の展示会出展に関わる総合サポート】

売上DI(前年同期比)の推移

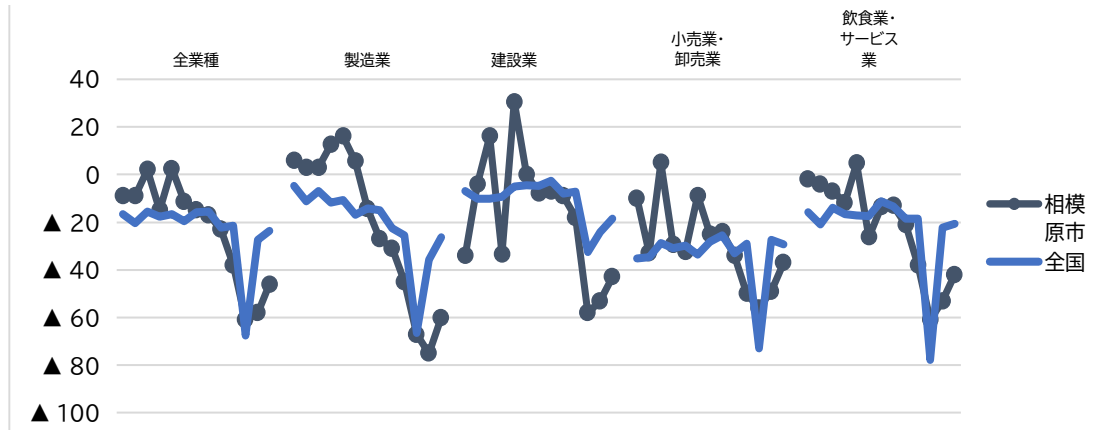
全産業の売上DIは、前期▲58から▲46(前期差12ポイント増)と、改善した。

産業別にみると、製造業が▲60(前期差15ポイント増)で大幅な改善で、小売業・卸売業は▲37(前期差12ポイント増)、飲食・サービス業は▲42(前期差11ポイント増)、建設業は▲43(前期差10ポイント増)で、それぞれ改善した。

製造業のDIは変動幅は大幅な改善であったが数値上は▲60であり、依然として非常に厳しい状況である。その他の業種は、前期に引き続き改善傾向が続いているが、DI値は▲40前後であり、厳しい状況には変わりがない。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、全国のDI値はいずれの業種も▲20程度まで回復が進んでいる。ただし、全国の小売・卸売業と飲食業・サービス業は再度悪化する兆しがみられるのが気になるところである。

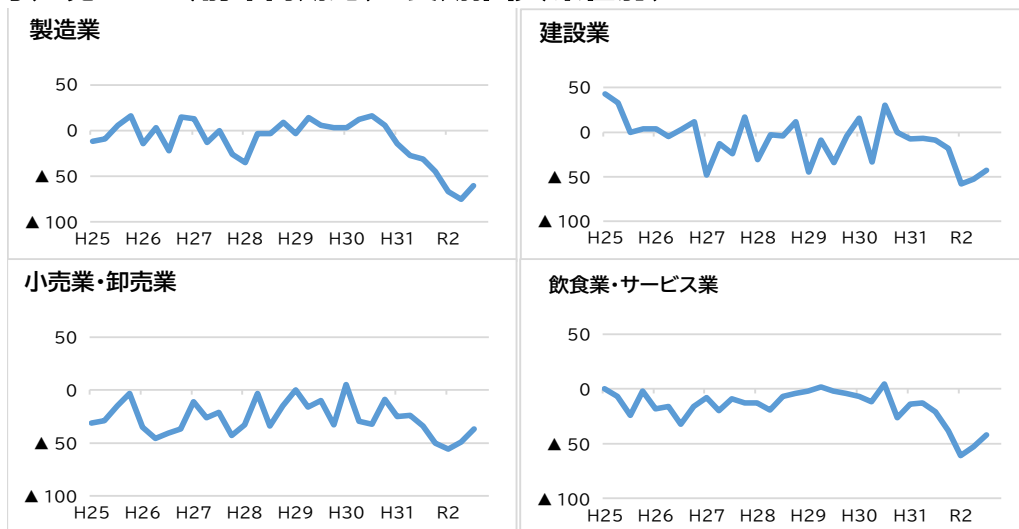
(平成29年10-12月期～令和2年10-12月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「売上額DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 売上DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



採算DI(前年同期比)の推移

全産業の採算DIは、前期▲55から▲45(前期差10ポイント増)と、改善。

産業別にみると、建設業が▲38(前期17ポイント増)と大幅に改善した。製造業も前期で底を打って▲56(前期差9ポイント増)と改善に向かっているが、依然として低位の状況である。小売業・卸売業が▲40(前期差9ポイント増)、飲食業・サービス業が▲43(前期差8ポイント増)と、前期に引き続きいずれもやや改善。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、当市のほうが回復が遅れていた建設業も状況が改善し、その他の業種では全国と同様、回復の動きを示している。

(平成29年10-12月期～令和2年10-12月期、前年同期比)

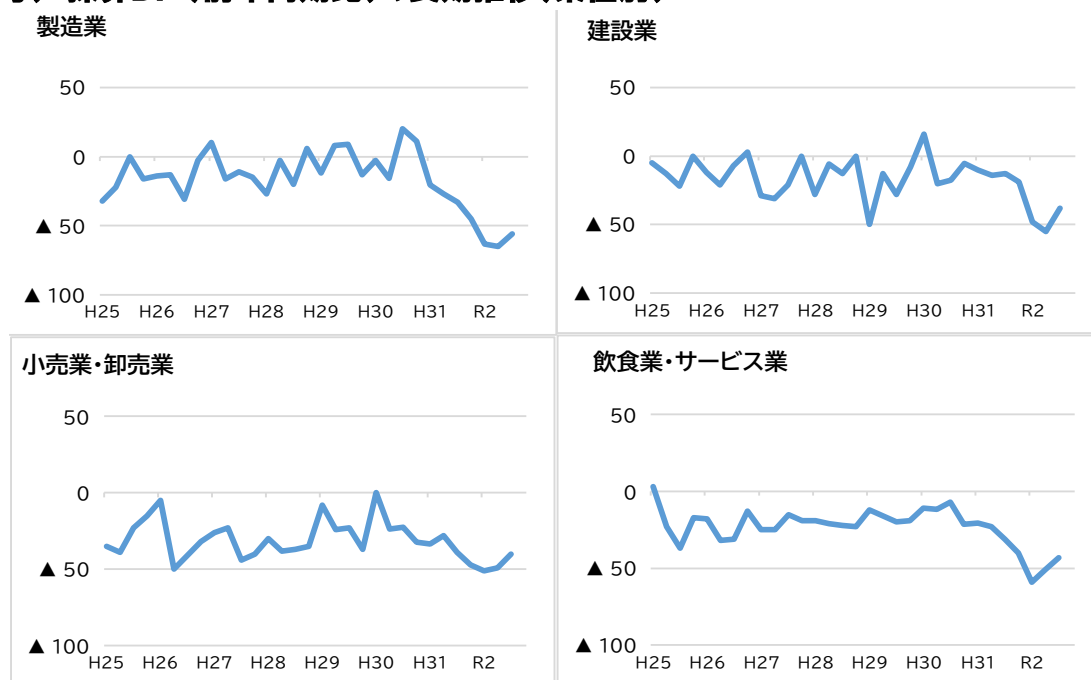


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※採算DIについて、当所では「採算」、中小企業庁は「経常利益」を質問項目としている

参考) 採算DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



従業員DIの推移

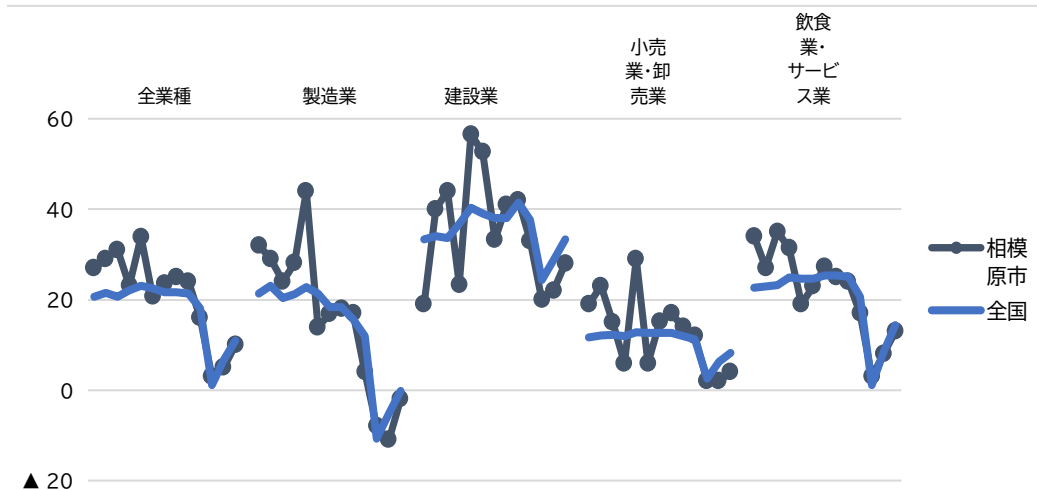
従業員DI(前年同期比)の推移

全産業の従業員DIは、前期5から10(前期差5ポイント増)になり、景気回復の兆しが見えて来たことにより、人手の需要が徐々に増加し始めたが、業種によってばらつきが大きい。

産業別では、業況の回復が遅れている製造業は、前期からの人手過剰感は若干改善したものものの依然として▲2(前期差9ポイント増)である。人手不足が和らいでいた建設業は、28(前期差6ポイント増)と今期からもとに戻り始めた。飲食業・サービス業は13(前期差5ポイント増)、小売業・卸売業が4(前期差2ポイント増)であり、若干ながら人員の需要が増え始めている。いずれの業種も、業況DIの改善に伴い、人あまりの状況は解消されつつある。しかし1月に実施された首都圏の緊急事態宣言に伴う休業により、次期は、前々期同様に再度悪化する可能性が高い。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、全業種において、ほぼ同様の傾向・同様のDI値となった。

(平成29年10-12月期～令和2年10-12月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「従業員数過不足DI」を使用。

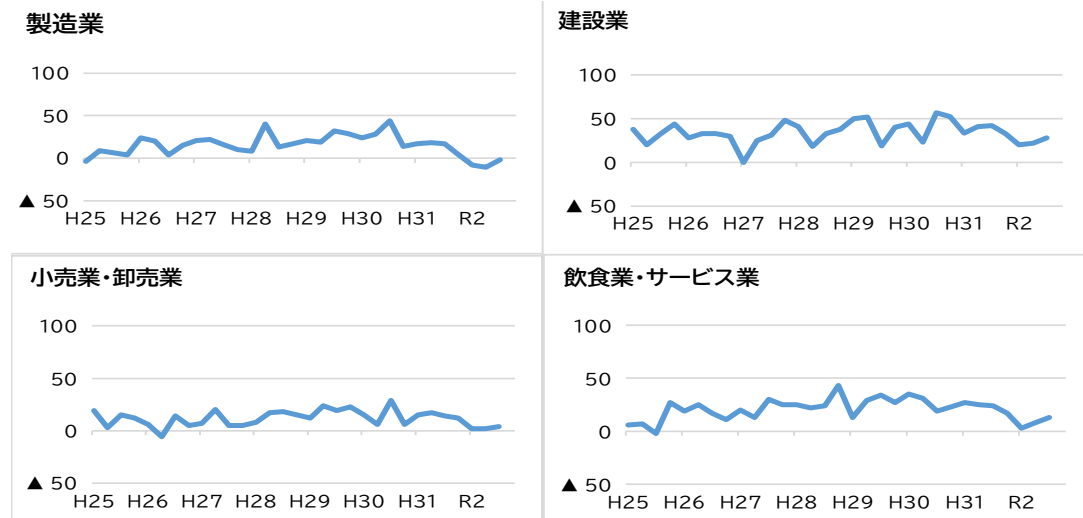
※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※従業員DIについて、当所では「前年同期比」、中小企業庁は「今期の水準(過去との比較ではない)」を調査

※従業員DIについて、当所では「DI=不足ー過剰、中小企業庁は「過剰ー不足」で算出。

比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 従業員DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



資金繰りDIの推移

資金繰りDI(前年同期比)の推移

全産業の資金繰りDIは、前期▲32から▲29(前期差3ポイント増)で、前期から若干改善した。

産業別にみると、小売業・卸売業で▲21(前期差8ポイント増)、建設業は▲23(前期差4ポイント増)、飲食業・サービス業は▲31(前期差2ポイント増)、製造業では▲36(前期差2ポイント増加)、いずれの業界も改善した。

資金繰りは改善基調にあるものの、DI値としては、製造業や飲食業・サービス業で▲30以下であり、安心できる状況ではない。資金繰りの状況が急速に改善した小売業・卸売業も、商品分野によって業況に大きな差が出ており、厳しい状況が続く事業者も多いようである。

産業別に当市の今期の数値を全国値と比較すると、小売業・卸売業を除いて、当市のほうが資金繰りの改善が遅れている。

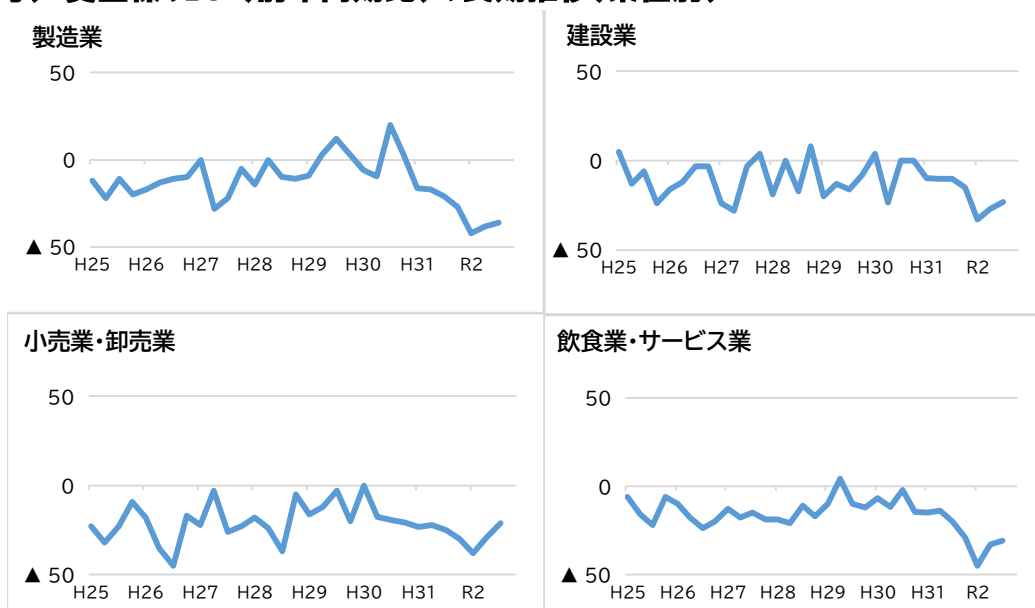
(平成29年10-12月期～令和2年10-12月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 資金繰りDI(前年同期比)の長期推移(業種別)



仕入単価DIの推移

仕入単価DI(前年同期比)の推移

全産業の仕入単価DIは、前期▲21から▲22(前期差1ポイント減)だった。

産業別にみると、小売業・卸売業の▲31(前期差2ポイント増)のみが増加で、建設業は▲26(前期差1ポイント減)、飲食業・サービス業は▲17(前期差1ポイント減)、製造業は▲21(前期差3ポイント減)と小幅の減少であった。いずれの業種もDI値はほぼ前期と同様であり、DI値も7月以降安定している。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、数値の増減は全国と同じ傾向を示しているが、小売業・卸売業では全国との乖離が大きい。全国では単価変動はほとんどないが、市内では仕入単価上昇を訴える事業者が多い状況が長く続いている。

(平成29年10-12月期～令和2年10-12月期、前年同期比)



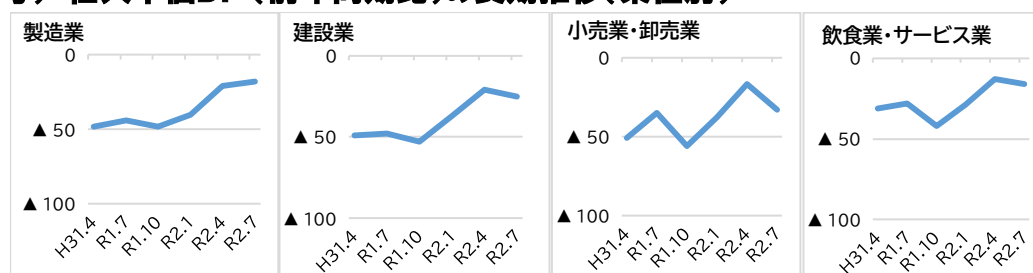
※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「原材料・商品仕入単価DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※仕入単価DIについて、当所では「DI=下落—上昇、中小企業庁は「上昇—低下」で算出。

比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 仕入単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



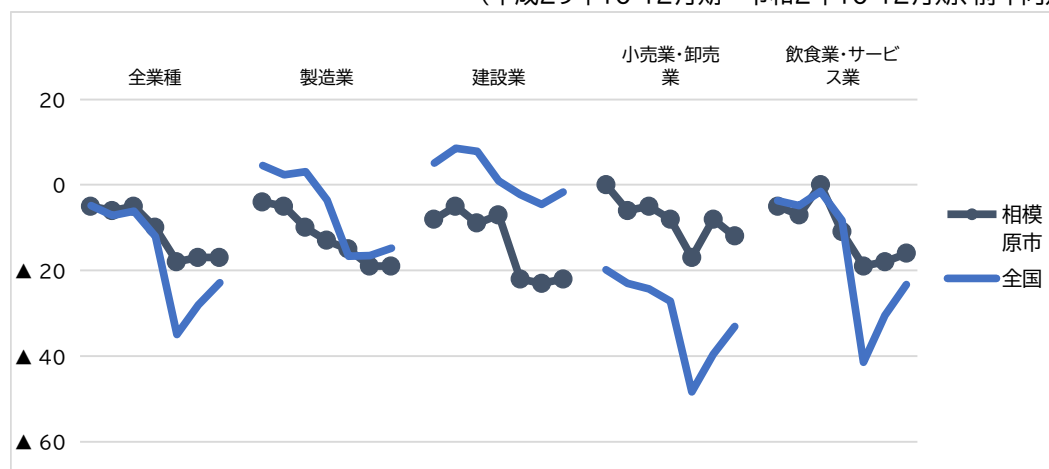
販売単価DI(前年同期比)の推移

全産業の販売単価DIは、前期▲17から今期も▲17(前期差±0ポイント)と不変。

産業別にみると、小売業・卸売業のみが▲12(前期差4ポイント減)とやや減少、製造業は▲19(前期差±0ポイント)、飲食業・サービス業が▲16(前期差2ポイント増)、建設業は▲22(前期差1ポイント増)と、大きな変動がなかった。いずれの業種も販売単価は安定しつつある。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、全国よりも、建設業のDI値が低く、小売業・卸売業のDI値が高い傾向が続いている。首都圏では建設業の競争が激しく、小売業の事業環境は地方より良いことがDI値に反映されていると思われる。

(平成29年10-12月期～令和2年10-12月期、前年同期比)

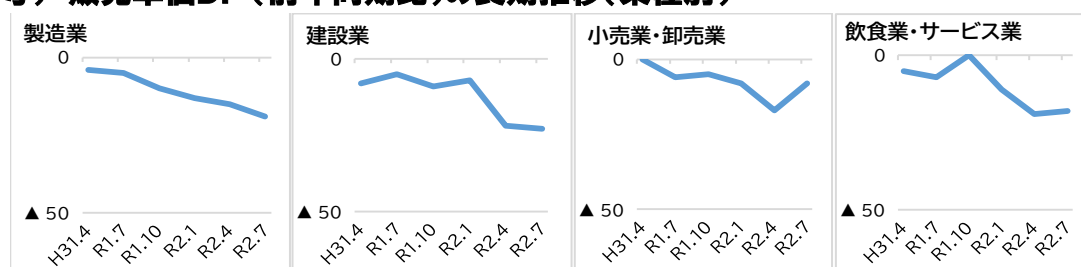


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「原材料・商品仕入単価DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※建設業については、全国値は日本商工会議所「早期景気観測商工会議所 LOBO/建設業令和2年12月」分類の値を使用

参考) 販売単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



集計表(景気観測調査)

			今期(R2.10～R2.12)				次期見通し(R3.1～R3.3)			
			売上:増加 採算:資金、総合: 好転 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不变	売上:減少 採算:資金、総合: 悪化 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値	売上:増加 採算:資金、総合: 好転 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不变	売上:減少 採算:資金、総合: 悪化 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値
製造業	売上	サンプル数	30	49	193	272	41	89	142	272
		構成比	11	18	71	▲60	15	33	52	▲37
	採算	サンプル数	19	81	172	272	24	114	134	272
		構成比	7	30	63	▲56	9	42	49	▲40
	仕入単価	サンプル数	8	199	65	272	4	210	58	272
		構成比	3	73	24	▲21	1	77	21	▲20
	販売単価	サンプル数	5	211	56	272	6	207	59	272
		構成比	2	78	21	▲19	2	76	22	▲19
	従業員	サンプル数	24	218	30	272	21	226	25	272
		構成比	9	80	11	▲2	8	83	9	▲1
建設業	売上	サンプル数	19	64	97	180	21	72	87	180
		構成比	11	36	54	▲43	12	40	48	▲37
	採算	サンプル数	13	86	81	180	15	85	80	180
		構成比	7	48	45	▲38	8	47	44	▲36
	仕入単価	サンプル数	6	122	52	180	6	123	51	180
		構成比	3	68	29	▲26	3	68	28	▲25
	販売単価	サンプル数	9	123	48	180	9	126	45	180
		構成比	5	68	27	▲22	5	70	25	▲20
	従業員	サンプル数	53	125	2	180	47	126	7	180
		構成比	29	69	1	28	26	70	4	22
小売業・卸売業	売上	サンプル数	7	125	48	180	7	119	54	180
		構成比	4	69	27	▲23	4	66	30	▲26
	採算	サンプル数	11	97	72	180	18	83	79	180
		構成比	6	54	40	▲34	10	46	44	▲34
	仕入単価	サンプル数	34	34	93	161	17	50	94	161
		構成比	21	21	58	▲37	11	31	58	▲48
	販売単価	サンプル数	21	54	86	161	13	66	82	161
		構成比	13	34	53	▲40	8	41	51	▲43
	従業員	サンプル数	7	97	57	161	3	106	52	161
		構成比	4	60	35	▲31	2	66	32	▲30
飲食業・サービス業	売上	サンプル数	18	106	37	161	15	113	33	161
		構成比	11	66	23	▲12	9	70	20	▲11
	採算	サンプル数	13	141	7	161	12	139	10	161
		構成比	8	88	4	4	7	86	6	1
	仕入単価	サンプル数	17	93	51	161	5	97	59	161
		構成比	11	58	32	▲21	3	60	37	▲34
	販売単価	サンプル数	18	66	77	161	10	71	80	161
		構成比	11	41	48	▲37	6	44	50	▲43
	従業員	サンプル数	68	109	247	424	34	158	232	424
		構成比	16	26	58	▲42	8	37	55	▲47
全業種 総合	売上	サンプル数	39	163	222	424	28	193	203	424
		構成比	9	38	52	▲43	7	46	48	▲41
	採算	サンプル数	12	328	84	424	7	344	73	424
		構成比	3	77	20	▲17	2	81	17	▲16
	仕入単価	サンプル数	21	313	90	424	12	326	86	424
		構成比	5	74	21	▲16	3	77	20	▲17
	販売単価	サンプル数	75	328	21	424	73	328	23	424
		構成比	18	77	5	13	17	77	5	12
	従業員	サンプル数	22	248	154	424	16	275	133	424
		構成比	5	58	36	▲31	4	65	31	▲28
全業種 総合	売上	サンプル数	34	171	219	424	21	206	197	424
		構成比	8	40	52	▲44	5	49	46	▲42
	採算	サンプル数	151	256	630	1037	113	369	555	1037
		構成比	15	25	61	▲46	11	36	54	▲43
	仕入単価	サンプル数	92	384	561	1037	80	458	499	1037
		構成比	9	37	54	▲45	8	44	48	▲40
	販売単価	サンプル数	33	746	258	1037	20	783	234	1037
		構成比	3	72	25	▲22	2	76	23	▲21
	従業員	サンプル数	53	753	231	1037	42	772	223	1037
		構成比	5	73	22	▲17	4	74	22	▲17
全業種 総合	売上	サンプル数	165	812	60	1037	153	819	65	1037
		構成比	16	78	6	10	15	79	6	8
	採算	サンプル数	58	616	363	1037	45	652	340	1037
		構成比	6	59	35	▲29	4	63	33	▲28
	仕入単価	サンプル数	83	420	534	1037	70	482	485	1037
		構成比	8	41	51	▲43	7	46	47	▲40

集計表(トピックス)

製造業
10月の39キャンペーンで仕事あり。その前後良くない。【晝替】
9月頃より新型コロナウイルス感染症の件での生産受注が3割～4割減少したこと。
イベント、スポーツ等の中止など。【不織布製品の企画、製造、販売】
イベントの中止によりすべての制作物が中止になっている。【立体造形制作、施工】
イベントの中止による購買意欲が減。【太陽熱温水器】
エレベーター改修事業の延期に伴う製作減少が売上に響く。【エレベーター用ハーネス組立】
かつてない大不況。製造業にはGoToなどもない。持続化給付金をもう一度してほしい。【金属部品加工】
コロナが終息しないことには受注は回復しない。【特殊美術造形物】
コロナが終息しなければ先が見えない。【プラスチックキャップ】
コロナが落ち着くこと。【半導体用の制御盤の制作、エレベータの新設、備品、釦等の制作】
コロナで客先の生産量の減少。それに伴う設備投資の減少【ダイカストの良品支援】
コロナで単価が安くなっています。【工業試作(プラスチック加工)】
コロナで売上が悪いお店の値下げ依頼があるので利益の減少になりうる。【組紐等繊維製品製造販売及び化粧小物卸】
コロナにより来社したくてもできない方が大半のため、契約にならない。【特殊車両の製造販売】
コロナによる世界経済全体の落ち込み。【製缶板金】
コロナのこの先の状況が見えません。【食品、食品添加物】
コロナのため見通しが立てづらい。
コロナのニュースの良し悪しで影響されている。【工場用設備などの電気工事】
コロナの影響。【煙火用部品】
コロナの影響がどこまで続くのか全く見えない。【精密板金、試作板金、製缶その他】
コロナの影響が大きい。【産業生産設備、建設機械、橋梁等の金属部品加工】
コロナの影響が大きい。早期解決してほしい。【機械加工業】
コロナの影響でメーカーの動きがなくなってきた。【自動車部品試作、半導体製造装置部品】
コロナの影響で移動制限が有り、装置の試作トライに問題が出ている。【成型機中空アシスト装置と真空洗浄装置】
コロナの影響で輸出など先が見えない。
コロナの影響で来期の注文がまだ「0」に等しい。【超音波洗浄装置製造、販売】
コロナの影響により売上の低下。【制御盤の製造および設計】
コロナの状況。【製造業】
コロナの早期収束。【二次電池電池のガasket】
コロナの影響による受注減少のため、従業員の仕事がなくなり手が余っているが、短納期の受注などが入ってくるため、従業員を休業させることができない。【電気機械器具製造】
コロナ禍での売上不振。操業度の低下により業績が悪化。来期についても受注は好転していない状況で先行きの不安が残る。【空圧制御バルブ】
コロナ禍で今後の不安。【金属表面処理】
コロナ禍で自動車産業の世界的需要低下(特に欧米)により受注額の激減。5年位前より技術者不足。【産業用ロボット機械装置、同部品】
コロナ禍という影響は特になし。【輸送用機械部品加工】
コロナ禍における経済状況。【金属製品塗装業】
コロナ禍による経過悪化。【抵抗溶接機械の設計、製造、販売、メンテナンス。】
コロナ禍による受注減少。先行きの不透明感。【光学ガラス受託加工】
コロナ禍の影響で内外ともに製造業の活動が落ち込んでおり、製造用機械の部品を提供している当社にとっては年間20%程度の収益減となっている。受注の減少に伴い休業日を設けるなどして生産調整する一方、雇用助成金など国からの支援を得て操業している。おかげさまで今期はぎりぎり赤字にはならないと思われるが、引き続きコロナの影響で来期も改善の兆しが見えていない。【空圧制御バルブの製造販売】
コロナ禍の影響と思われるが、件名の遅延が目立つ。【除振台、防振装置、除振防振工事、除振コンサル、除振測定及び解析】
コロナ禍の中で試作品を手掛け、受注になると思っていました。輸出部品で止まっています。【金属加工】

コロナ特需の影響を受けた。【食品】
テレワーク等賃金、雇用状況の悪化。【建機およびトラック部品の製造】
とにかくコロナ禍の影響で1か月先の予定すらハッキリしない状況です。【工業製品(部品)塗装】
ニッチな業界なので、コロナで景気が悪化するとボディブローのようにあとから影響を受けそうな予感がしています。【ヨットのマント設計、製造、販売など】
マスク、消毒の対応。予防がいつまで続くのか不安。【金属表面処理】
まったく先が見えない中での経営。景気感は感じられず。【精密機械部品】
引合が11月より増えてきた。【装置設計、製作】
客先受注の減少が長期化と資金繰りの悪化。【金属製造販売】
業種および取引先により景況が異なること。【樹脂装飾品の製造、販売】
業種上あまり関係ないが、コロナで受注大幅減。【真空、理科学、宇宙、機器製造販売】
景気悪化。【金属部品切削加工】
景気回復の見込みがたたない。【紙管製造業】
景気対策が小型すぎる。【静電塗装機器組立、検査】
見通しが立たない。【工作機械製作、メンテナンス】
原油高、船便高で原料価格があがった。【ポリエチレンフィルム製造、加工、卸売】
今までに経験したことがない50年に一度の不況。【機械加工】
今期(R3年9月まで)は順調だが、来期の予材が少ない。【消防被服製造卸】
今後の受注量の増加を期待している。【治工具、測定具、専用機等の製造、組立】
今年度前半のコロナ影響による大幅な出荷高減少から回復はしてきているが、来年度の状況は不透明であり、生産体制をどうするかが大変難しい。【産業用油圧機器製造(油圧モータ、ポンプ等)、鉄道用油圧機器(鉄道用ダンパー、アクティブサスペンション等)、航空機器製造(アクチュエーター、ホイール等)】
採用計画を満たす人材の不足(採用率の低下)。【半導体製造装置向け板金製品の製造】
在宅勤務対応のため、ネットワーク関連機器が動いている感がある。【表面処理で使用する水溶性防錆剤、水溶性潤滑防錆剤、水溶性潤滑剤】
市場競争力の低下で売上低迷。【産業用制御版装置】
自動車メーカー各社の回復が夏時点での予想より早く改善されてきた。【自動車用塗料の製造販売】
自動車業界の販売不振が長引き、回復は新型コロナウイルスの収束後にならないと不況から脱せられない。【自動車用ネジ等の製造】
自動車生産等全般的に回復基調のようだが、受注増にはまだつながってこない。【プリント基板、穴あけ加工】
若い人の採用に苦心する状況は変わらない。【金属製品加工】
主要先のうち、三菱ふそうトラックバスは30%減、トヨタの下請け会社は100%と好調。【ボルト、ねじ】
受注の激減。1月～10月全くなし。11月少しあり。【食品加工機器】
受注の減少。【精密部品加工】
受注減。【産業機械組立(ダイカスト)】
受注減、雇用状況【産業機械組立(ダイカスト)】
受注減。【精密板金加工】
受注状況により、従業員が過剰。【精密板金】
受注先が減少している。【通信機器製造受託、プリント基板実装受託】
受注量の減少。【板金加工業】
受注量の減少および受注価格の低下。【軟質ポリウレタンフォーム加工および製造】
受注量の落ち込みが大きい。【食品機械部品加工】
受発注の状況。【印刷業】
従業員不足により外注増。【クレーン(門形、天井)製造】
春先に比べ10～15%はアップしているようです。それでも80%程度の売上とします。【機械の製造販売】
助成金が足りない。【精密部品(自動車、電気など)】
新規案件の減少、先行き不透明、製造数量の減少。【電子回路設計、製造、販売】
新規案件は減少し、従来品の修理、改造が多い。修理、改造は利益率が低い。【プラスチック金型製造】

新規問い合わせ件数の減少。新規設備投資の停滞。【真空装置の製作、設計、販売、メンテナンスサービス】
新型コロナウイルスにより3月の卒業式、4月の入学式の写真販売、印刷物の減少により、前年比50%減になった月もあった。【学校卒業アルバム印刷、一般印刷】
新型コロナウイルスによる海外渡航制限や販売不振等、年内は厳しい。【自動機械設計、製造、販売】
新型コロナウイルスによる停滞感。【産業用向けネットワーク機器、メディアコンバータ】
新型コロナウイルスによる不景気。【金属製品製造業】
新型コロナウイルスの影響。【板金周辺機器の製造、販売、メンテナンス】
新型コロナウイルスの影響。【臨床検査薬(対外診断用医薬品)】
新型コロナウイルスの収束。【一般印刷】
新型コロナウイルスの状況による影響。【自動車用縫製品製造業】
新型コロナウイルス感染拡大により世界的な需要が減退している。特に国内需要や国内生産の回復が鈍化している。【電子部品製造販売】
新型コロナウイルス感染対策のため、営業活動(受注情報)が遅れる。【電力機器部品、免震デバイス、母線】
新型コロナの影響を受け、主力販売先(製造業)の動向が不透明。来春にかけ増産体制にシフトするなど好転要素の話は多いが、感染者増加などの状況に合わせて変化する可能性もあり、継続して注視が必要な状況。【省力機器・装置、溶接治具等の設計製作】
生産の海外シフトにより国内での開発案件が減少している。【電気機器の設計、製造】
先が見えない。【印刷業】
先が読めない事。【角紙管製造業乾燥剤 吸着剤加工】
先の見通しがたたない。【自動車用オイルフィルター部品の製造】
先の見通しはまったくわからない。【精密部品】
先行きが見えない。トラック部品は輸出が多いので、3月まで減ったままの予定です。コロナの影響が大きい。【金属機械加工、自動車部品、建築関連部品の製造および販売】
先行きの予想が全くたたない。【工業塗装】
前回と同様にコロナ禍による受注不透明、工期シフトにより影響を受けている。【人工大理石加工製造業】
全業種の受注減。【シルクスクリーン印刷】
早期ワクチン接種。【切削工具製造】
相模原市の39キャンペーンに参加したことは良かったと思います。【畳製作業】
大企業の経営不振による中小企業の売り上げ減少。【精密部品加工、各種治具製作・設計】
大口顧客の売上減。コロナによる新製品評価先送り。【粘着製品の加工、販売】
大手メーカーのリストラが進んでいる。結果、中小企業が半年後には確実に影響を受けるのは予想できること。コロナウイルスの影響か？忙しい業種と、そうでない業種の差がここ10年で一番違う。【プラント装置、半導体、自動車関連測定機器等】
大手企業が社内留保に走り、設備投資を控えている。ファインジュアケット蒸気配管や熱を発する箇所に取り付けるカバーです。無駄な放熱を防ぎ、燃料の節約、電気料金の節約をして省エネ、CO2削減に貢献するカバーです。大手企業の設備投資の控えが目立つ。大手は動いてほしい。【省エネ保温カバー(ファインジャケット)】
短納期化が進んできている。【自動車および精密機器、プレス部品】
短納期対応で忙しいが、金額が伸びない。【ゴムパッキン加工、機械部品組立】
注文が減り続けている。【金属塗装】
長い不況感いつまで続くのでしょうか。先が見えず、夜の中に負けず頑張ります。【各積専用機加工製作】
低価格になり見積りが通る確率が下がった。客先も受注減とのこと。【金属製品製造】
店舗減少。【業務用家具、店舗用家具】
当社は下請けの下請け会社なので、先がまったく見えません。今現在なんとか仕事が回ってきているだけありがたいと思っています。【木枠梱包、パレット製作、鉄製品溶接製造】
働き方改革に伴う影響。【生コンクリート製造販売】
得意先の輸出不調。【紙加工】
特に受注量が今までになく減少している。仕事が無い状況。【自動車部品プレス金型設計製作】
売上不振
販売量の減少。【ガラス瓶の製造】

弊社は受注生産のため、得意先からの発注が少なくて売上が減少。【トランス(電源トランス)、スイッチングトランス、各種コイル】
民間工事の減少により、競争がさらに増え、販売単価が合わなくなっている。【金属建具製品製造】
野菜相場が低迷している関係で、昨年より売上増加が厳しいと感じております。【もやし、カット野菜】
役所、一般企業の受注が激減。【印刷業全般】
輸入品を扱う比率が高いが、一時的に入荷が滞っている状態があった。同一労働同一賃金や働き方改革に今後対応するためパートの社員化やパートへの賞与・退職金分の時給の上乗せ、改正派遣法への適応のため人件費とその関連コストが上昇した。働き方改革はよいが、少しの違反で厳しく指導される。もっと違反状態の会社を指導することに注力してほしい。【各種製品の加工・検査及び梱包】

建設業
9月まではコロナの影響も限定的であったが10月から12月にかけての売り上げが減少。今までとは違う雰囲気ややはり感じられる。【建築一式 リフォーム 屋根工事 防水工事 金属工事】
お得意先にコロナの影響があれば若干影響が出る可能性もあるが、特に対策はしていない。【とび、土木、解体】
コロナで先が読めない。【電気工事】
コロナにより消費を控える方が多い。【足場の組立、解体】
コロナにより設備投資が低迷を続けている。【総合建設業】
コロナによる景気観の落ち込み。【管工事業】
コロナのため受注状況が不透明。【防水工事業】
コロナの影響で仕事が少なく感じられる。【外構工事、基礎工事】
コロナの影響で消費者が食費以外でお金を使わない傾向がある。【造園業】
コロナの影響で内装工事が減少している。【店舗、テナント等の間仕切り工事】
コロナの影響なのか例年の年末と忙しさが違う【金属金物販売設計施工】
コロナの影響による受注の低下【サッシ・ガラス加工取付工事、エクステリア工事】
コロナの影響を受けて競争が厳しくなった。【建造物解体業】
コロナの関係。【通信工事業】
コロナの収束がいつになるのか。【建設業】
コロナ禍で投資意欲の低下。【管工事業、電気工事業、建築工事業のリニューアル工事業】
コロナ禍より前から不況感があり、コロナのためというより全体的に不況という感じです。【左官タイル工事請負】
コロナ感染の再拡大で景気が再び悪化してくるような感じがする。【土木工事業】
悪化。【庭木保守手人工】
案件が少ない。【タイル工事、タイル加工】
案件の直前キャンセルが多い。【電気工事業】
一般顧客が出費に対して慎重になっていて契約が取りづらい。【一般建築物の屋根、外壁、板金工事業】
飲食ほどではないがコロナによる受注減少の影響が9月ごろから出てきている。【一般建設業、屋根工事 防水工事 金属工事 板金工事 建築一式工事】
感染対策で現場の効率低下が原価アップになりつつある。【空調衛生設備工事】
技術者の減少。【建築】
競争の激化。【カーテン】
業界が総体的に若年層を中心に慢性的な人手不足で苦労している。収入等他業種より好条件も応募すらない状況。【土木、舗装工事】
業種により売上減少が見え、その業種が全体を押し下げる可能性もある。【建築設計・建築施工】
業種的に厳しい。【大規模修繕による仮設足場工事】
景気の見通しがつかなく、失職したお客さまもいますので、交換が必要なものでも部品のみでの交換対応を強いられます。景気がよくなりませんと好転は難しい。【衛生設備工事、給排水工事、リフォーム工事】
建設業は、後から景気に左右されるので、これから先が心配。【塗装、防水工事】
現場、外の仕事なのに IT ツール等ばかり優先の方向に憤りを感じる。【外構土木工事】
現場の単価の下落。【防水工事】

個人のお客様が多いので、お客様にもう少し様子をみたいといわれたときは、お客様待ちになる。【リフォーム】
個人消費の低迷。【外構工事】
顧客の設備投資がほとんどなく、それに伴い工事受注が減少している。【電気工事業】
公共、民間工事の計画遅延(先延ばし)【電気通信施設の設計、施工、保守およびコンサルティング業務】
公共工事が少ない。コロナをチャンスに公共施策の変更が必要。【管工事】
公共工事の清算が遅すぎる。【造園、土木、樹木販売等】
好況が続いているが、薄氷を踏んでいるような不安あり。【建設業】
工事の受注が来年以降減少していく予想【土木工事業】
工事の中止、日程の延期等により人材不足による受注数の限界がある。【機械器具設置、とび土木工事、管工事】
今期後半はコロナで心配していましたが、今のところ受注は変わりませんが、人手不足をどう考えたらいいか。【鉄骨金物】
今後の受注。【外壁サイディング工事】
産廃処理代が上がりすぎている。坪単価下落。競争激化。【解体、リフォーム】
受注状況の悪化。【金属製建具】
受注状況少し減少。積算依頼の減少。【特注家具設計施工】
受注先(元請け会社)の工事量の減少【建築塗装、防水】
従業員を再度募集はしているのですが難しい。【測量、大工工事業】
従業員不足。【土木建築】
徐々に景気は戻ってきている。【総合建設業】
商業施設関係の受注減により、収益率が低下している。【電気設備工事】
新型コロナウイルスによる経済の低迷(東京オリンピック開催なるか)。【板金工事、防水工事】
新型コロナウイルスの影響で建設業界も工事量が減少したうえ、現場内で一人でも感染すると全業種全員が自宅待機になり、工事がストップする状況で、感染の当事者になった場合の弁償等のことも心配です。【鉄筋工事業】
新店工事の激減。また、販売価格の下落、過当競争。【内装仕上工事】
人と接触できない。しづらい。【リフォーム】
人員整理が必要となった。【工場内電気設備工事】
政府の補助金に助けられた感。雇用調整助成金は3月末まで延長してほしい。【店舗内装工事】
政府建設投資が堅調に推移する一方、新型コロナウイルス感染症の影響等により、民間建設投資の減少がみられ、事業計画の縮小・変更の動きが増加した。【土木、建築工事請負事業・不動産事業】
先がわからない。【住宅のリフォーム業】
先行き不透明感の悪化。【塗装防水工事業】
前期までの好況一変。11月から売上低下。【建設業】
全体的に消費をおさえている感じがする。【電気工事、エアコン工事】
相模原市の公共工事が少ない。【コンクリート左官業】
相模原市役所の工事が特に減少。【道路工事】
値きり比べ、単価の下落。【R.C SRC コンクリート打設型枠工事】
倒産寸前ギリギリの状態。【機械器具設置工事業】
同業者の皆様が仕事量の減少との声大なり。【鉄骨建築工事】
同業他社との受注競争が激しい。【リフォーム工事】
不況。【クリーンルーム】
不況感。【解体工事業】
来年度の公共工事の減少。【工事業】

小売業・卸売業
10月～12月で売上が増加したのは39キャンペーンによるもの。【靴小売業】
39キャンペーン良かったです。【家電販売】
この先の景気の変化が読めない。【家電】

コロナウイルスの影響で、各ユーザー様の労働時間短縮の為、機械の使用時間減少及び予算縮小による売上高減少。【エアコンプレッサーの販売・整備点検等】
コロナでお客が来ない。【野菜】
コロナで営業活動制限されていること。【鋳造副資材卸】
コロナで外食産業低迷の余波を受けています。【酒類販売】
コロナで減少し、大変です。【乳製品卸】
コロナと米中貿易の影響を感じます。【電子部品、金属加工品の輸出入業】
コロナによっての不況感。店を閉めるしかないと思う。【食品販売】
コロナによる影響。【乾物食品他】
コロナによる景気悪化につきます。【荷役運搬機器、機械、工具等の販売およびメンテナンス】
コロナによる個人消費の低迷、不景気感【墓石の販売】
コロナのため、葬儀関連の下落が大きい。【生花、園芸品の小売】
コロナの影響。【医薬品、化粧品、雑貨】
コロナの影響あり。【靴販売】
コロナの影響で海外顧客先の動きが鈍く新規開発等の案件が途中で暗礁に乗り上げる。【光学機器用レンズ輸出(内視鏡、デンタルカメラ、工業用機器使用レンズ)】
コロナの影響で個人消費が低迷しているように感じる【園芸・生花店】
コロナの影響で来店客の減少。【自動車販売】
コロナの影響大。【新建材、木材販売】
コロナの今後の対応。【九州物産】
コロナ禍により消費の低下を感じています。SNS を利用して購入する機会も増えているため、その影響は大きい。【化粧品、衣類販売】
コロナ禍の影響。【ボルト、ナット、機械加工部品、板金部品等】
コロナ関連の商品が落ち着くと売上が減るのではないかと不安。【文具、事務用品、鋼製・木製什器、用紙類の販売(受注納品)】
コロナ対策での需要の増加。【金物小売】
コロナ対策に費用、時間がかかり、業務効率がやや低下。【薬局】
コロナ対策備品等増加。【化粧品販売、エステ施術】
ジワジワと下向きになっている感じ。【自動車部品】
すでに IT 化されているが、在庫管理等細部のものに対応していない。【ストマ用消耗品】
ブーム的な商品は売れる傾向にある。【玩具(男子玩具、女子玩具、ゲーム(テレビゲーム除く)、駄菓子)】
一般消費者の減少。【タバコ、酒類】
一部ジャンルの作品価格が高騰し、仕入れが困難になっている。【美術品の卸・小売】
一部輸出関係で若干底を打った感があるが、依然広範囲の業種業界で厳しい状況を予測。【工業用製品の卸販売】
飲食店の廃業が増えている。【業務用酒類販売】
営業先となる福祉施設の方との商談ができない。【リハビリやレクレーション向けのモーショントレーニングシステム TANO を販売】
下半期より新型コロナウイルスの影響がユーザーに及び、その影響で販売が伸び悩んでいる。【介護用食品の開発および販売】
皆さんと同様にコロナの影響が多々あると思う。【中古車販売】
拡大防止の観点から消費の低迷。【酒、飲料、たばこ】
客数の減少で売上ダウン。【食料品(青果、魚、肉、惣菜)】
求人をしなくても人が来る。辞める人も少ない。【弁当、惣菜等製造販売業】
業種による購買力の差がある。【作業着、作業用品販売】
近年の気候変動により地方の販売減。新型コロナウイルスによる販売不振。【工業用および建築関連用接着剤等】
景気感、受発注の状況、消費者状況など良くない。【メガネ、コンタクトレンズの販売】
建設業が低迷しているので、運送、中古鉄板が出ないため、仕事がない。【中古品販売、運送仲介】
個人消費が落ち込むこと、企業の設備投資が落ち込むこと。【24時間風呂 機器販売 取付 修理】
公共交通を使いたくない分、自動車の販売は上がっている【自動車ディーラー】

高齢化が進み空き家が増え、消費量が減少。【LP ガス、灯油、リフォーム】
国の給付金や市の39キャンペーンが売上拡大に影響した。【寝具用品小売、羽毛ふとん他リフォーム】
今期は比較的良かったが、コロナの影響が長引くと、どうなるか不安。【二輪車販売】
在宅消費増により BtoC(Web 注文、通販)の売上好調が続いている。【健康食品の販売(玉ねぎ皮茶など)】
昨年の消費税増税後、高齢者の終活による買い控えで来店客数が減少。販売額の低額化は続いていて、コロナとダブルで影響が出ている。【メガネ、コンタクト、補聴器】
市の39キャンペーンは売上に大きなインパクトがあった。【スポーツ用品】
市場ニーズの変化【衣料品】
受注先の仕事の減少が目立ってきている。【建築土木資材販売】
商品の不足。【釣り具販売】
消費者の安価指向が一層強まった。【生鮮青果物】
新型コロナウイルス感染の拡大による売上減。【機械工具販売(切削工具、測定工具、ベアリング等)】
新型コロナウイルス感染症の影響から先行きが不透明。【地方卸売市場(青果)の運営】
新型コロナウイルス感染防止の終息を切に希望します。【から揚げ、焼き鳥専門店】
新型コロナウイルス感染問題で受注減少。製造拠点が海外生産に移行。管理費等の上昇。新型コロナウイルスに対する医療関係、消毒方法等の情報が不明。【電子部販売商社】
政府の施策などもあり、需要が少しずつ改善しつつありましたが、感染再拡大の影響が、1年で最も大きい需要期である年末年始に及びそうで心配しています。【菓子製造販売】
生活様式の変化が業績に大きく影響しており、感染拡大に歯止めがかからない限り回復は望めない。一部のカテゴリーでプラスとなっている部分はあるがトータルでは消費は低迷している。【衣料品、住まいの品、食料品】
相模原市の39キャンペーン効果により、客数(売上)良かったです。【学校用品】
相模原市の低迷感。【たい焼き、たこ焼き、焼きそば】
大手メーカーの影響。地場のお客さんの減少。【木材、新建材販売】
店舗販売なのでテレワークなどでは仕事ができない。【お茶、のり、しいたけ珈琲、茶器】
努力はすれど売上は伸びない。外注が少なく、イベントもなし。【生花小売】
得意先の仕入数量が減少して売上が落ちている。【空気圧機器卸売業(一部製造)】
販売先工事の減少、仕入。【骨材販売、客土販売の自社運搬、ダンプ常用】
不安感。お客様が来ない。【はんこ屋】
輸出先がロックダウンでスムーズに輸出できない。輸入価格上昇。【卸売業】
来期以降の見通しについて不透明感が強くなってきている。【電設資材卸売業】
例年行う販売イベントが今年はできなかった影響が大きいと思う。ネット販売の普及が大きい。【時計、メガネ、宝飾】

飲食業・サービス業
11月は売上最悪でしたが、12月はアップしてきている。【美容技術一般】
4月～6月のマイナスが大きい。【不動産仲介】
GoTo キャンペーンで多少の収益はでるが、内容がコロコロ変わるので疲労度が高い。【旅行業】
イベントの中止による市場の低下(売上)。【貸植木業】
イベント自粛による売上の低下。【カフェ】
イベント等が行えていないので、困っている。【福祉関連】
オンラインでのイベントによる集客。【ラーメン専門店】
お客さんの来店周期が延びた。特に高齢のお客さんが外出をしない。高齢者施設に出張散髪に行っているのだが、キャンセルが続いてる【理容業】
グローバルで動きが止まっているため、すべての動きが鈍い。【書籍出版、セミナー主催】
全体の来客は回復しつつあるが、同伴するゲストの数が戻らないため、平均価格が下落している。【サービス業】
コロナ。【一般貨物】
コロナウィルスの影響で外出自粛要請が出ているおかげで来店客数がかなり減少している。【美容業】
コロナウィルスの影響による例年にない動き等。【不動産賃貸借】

コロナで1～3月の撮影が鈍化と思う。その部分を他の業務で補う。【動画/写真とweb】
コロナでの経済経営が低下。【整骨院】
コロナで先行きが悪化。【居酒屋】
コロナで売上げ半以下に。【バス】
コロナで売上低下。【一般旅客自動車運送】
コロナで来店回数が減少。【美容業】
コロナにより30%減が続く。【ネイルサロン】
コロナにより営業自粛で売上に影響している。【医療介護用品レンタル、販売】
コロナにより来客が少なくなり、個人消費の低迷。【美容業】
コロナにより来店数の減少。【マッサージ】
コロナによる影響。【飲食店運営】
コロナによる仕事の変化で貸事務所は減少している。【貸しビル、部屋】
コロナによる収益損失。【ホテル、レストランの経営】
コロナによる諸影響。【エンジン・ターボチャージャの設計等】
コロナによる消費の落ち込みと販売価格の低下。【食品の輸送】
コロナによる状況の変化が商売に影響するのではないかと不安が常にある。(いつもおいている場所に行けなくなるのではないかと不安)【移動販売にて珈琲の販売】
コロナによる売上の減少のみ。【そば、うどん】
コロナのため、お客様の周期率が悪く客単価が上がらない。老人施設など訪問ができなくなり、売上が上がらない。【理美容業】
コロナのワクチンができれば不況は少しは良くなると思います。【居酒屋(酒、料理)】
コロナの影響。【お酒】
コロナの影響。【美容業】
コロナの影響がどのくらいあるのかわからない。GoToトラベルなど。【レンタカー、中古車販売】
コロナの影響が甚大。【海外引越業】
コロナの影響が追い風に近い。【加工食品、酒類、雑貨】
コロナの影響で仕入出来ない、消費者の売値が高い【不動産売買、土地、戸建、マンション】
コロナの影響で取引先の経営悪化が見込まれる。【労働保険、社会保険】
コロナの影響で新規採用が難しい。【コンピュータソフトウェア開発】
コロナの影響で先行き不安。いつまで続くのか保証がないことがつらい。【食べ物、飲み物提供(鶏の唐揚げ、刺身他)】
コロナの影響で利用者様のキャンセルが増えることで売上減少。今後は1人でもコロナ感染者が出た時の休業による売上の減少が怖い。【介護、福祉、医療】
コロナの影響により、廃業率の多さが目立ち、街全体の売り上げが低迷している。【1.会員の取り扱う商品の共同購入、2.会員の為に行う共同宣伝並びに共同施設の設置および運営、3.会員の経済的地位の改善のためにする団体協約の締結、4.会員の事業に関する経営及び技術の改善向上、組合事業に関する知識の普及を図る為の教育及び情報の提供、5.会員の福利厚生に関する事業、6.その他附帯する事業の実施】
コロナの影響による外食の必要性【居酒屋、酒類、飲食類の提供】
コロナの影響による個人利用の低下。【訪問美容】
コロナの影響による大人数のキャンセルが相次ぐが個人(家族)のお客様は変わらず、いらっしゃる。【焼肉、韓国料理】
コロナの影響のある業種とない業種の差が大きい。【不動産賃貸業】
コロナの影響は限定的だが、先行き不透明感は強い。【ソフトウェア開発、システム構築】
コロナの影響大です。【一般貨物】
コロナの終息が見えず、見通しが立たない。【レストラン営業、不動産賃貸】
コロナの状況で足元が弱い。流れが悪いと感じています。【屋外広告業(看板)】
コロナの動向。【金属リサイクル業】
コロナ禍が飲食店を直撃している感否めない、少しよくなると罹患者が増え外出自粛などの呼び掛けがあるととたんに客足に影響が出る。原材料費は待ったなしで上昇するが売価は上げられず利益率は悪くなるばかり【中国料理】
コロナ禍が長引くとどうなるかわからないのが不安。【土業】

コロナ禍で客足半減。
コロナ禍における移動制限で訪問が困難になっており、受注、サービス提供が減少している。【品質マネジメントシステム導入、認証取得・維持支援、環境マネジメントシステム導入、認証取得・維持支援、情報セキュリティマネジメントシステム導入、認証取得・維持支援】
コロナ禍における先々の予測が難しい点。【運輸、通信業】
コロナ禍による、先行の不透明さ。【弁当仕出し、高齢者配食サービス】
コロナ禍による音楽産業の低迷による売上低下。【楽器用アンプ等の修理と販売】
コロナ禍による患者の減少。【鍼灸、マッサージ業】
コロナ禍による不安。【ラーメン店経営】
コロナ禍におけるオフィスの縮小、経費削減による悪影響【観葉植物レンタル】
コロナ禍のため不況感です。コロナ禍の影響から公共事業の減少が予測されます。公共事業の収益が減少すると予測しています。【電気保安管理業務受託】
コロナ禍の影響で業績不振。【タクシー会社】
コロナ禍の影響で展示会の中止、延期が続いているため大変に厳しい状況です。【企業の展示会出展に関わる総合サポート】
コロナ禍の影響で来客数の減少。【金券売買、リサイクル、趣味品売買】
コロナ禍の影響を考えていたが、最低保障のなかで守られている部分が多い。しかし国の施策に左右されるため、売上（報酬）については未知数である。【障害者の就労支援として日中活動支援事業所を運営】
コロナ禍の中、景況感の悪化、精神的ストレスの増大。【グループホーム、有料老人ホーム、通所介護の運営】
コロナ禍の中、更にイベントなどが縮小される。見通しが立たない。【演奏、音楽教室】
コロナ禍の中で景気後退が懸念される。【不動産全般、子育て支援の家運営】
コロナ禍の動向。【自動車修理業】
コロナ感染が増大しているにも関わらず、取引先の業績は向上に向かっており、受注は増大しているものの従業員募集に対する応募者が少なく対応に苦慮している。【総合人材サービス業】
コロナ感染拡大による先行きの不透明感。【接骨院】
コロナ急増により客減少。団体なし。対応策なし。【居酒屋】
コロナ景気不況。雇用状況。【旅客自動車運送業】
コロナ対策に不満。【税理士業】
コロナ不況。【生ジュース店頭調理販売】
コロナ問題の収束がなければ、経営は更に悪化する。持続化給付金の再支給、雇用調整助成金の再延長など。【ホテル、婚礼、宴会、レストラン、ボウリング】
ステイホームによる個人消費の増加。【廃棄物処理業】
テレワークでの業務対応は問題ないが、人間関係や帰属意識の構築の難しさ【システム開発】
ビジネス需要わずかに伸び。観光悪化。【ホテル】
フレキシブルに GoTo など対応するのは仕方がないが、現場お客様の混乱によるクレーム対応に時間を要する。【ホテル業】
ヘルパー職員不足。【介護】
やはり新型コロナによる、受注減による影響が実情で、昨年対比売上げ5～8割減を推移しているのが現実です。特にイベント・展示会などの減少が影響を受けています。早期のコロナ収束が待たれます。【紙媒体、web 関連、サイン全般、イベント全般の企画・運営】
ようやく依頼が入った研修会の予定が第三波のせいで急遽キャンセル。【研修講師】
リーマンショック時と異なり、じわじわと仕事が減ってきている感じがします。対応として新規取引先の開拓をしています。【産業機械の設計製図サービス】
ワクチンの早期接種を望みます。【産業廃棄物収集運搬業、処分業、中間処理業、リサイクル業、分析業】
安定した企業からの発注がなくなった。【音響、照明、特殊効果機器レンタル等】
飲食や旅行業には支援がされている状況があるが、もっと他の業種にも目を向けるべき。【広告代理業】
飲食業態の不振。【商業施設の運営】
宴会が入らず、夜もヒマ。【寿司、うなぎ、ふぐ】
介護職員、夜勤不足。【住宅型有料老人ホーム、訪問介護】
開発の引き合いは増えているが、受注、入金に至るまでの時間が長いいため資金繰りは悪化している。【自律移動ロボットの開発、協働ロボットの Sier】

外出をしなくなったので、お店に来る人は減少。【サービス業】
官庁、民間ともに設備投資が止まっている。【建築設計監理業】
企業の受注状況が悪化している。【会計事務所】
客単価下落、コロナ自粛の影響。【遊技場】
業績に対しては不安がある。先はわからない。【保険業】
景気が悪くなることで賃貸料減額や滞納が増加。【不動産業】
景気の悪化。【不動産売買、仲介、管理】
景気の低迷。【広告代理店】
景気悪化にともなひ売上減少。【軽貨物運送、トラックシート販売】
景気感・好不況感の感触、新卒採用の好転。【機械電気設計の支援】
景気観への不安。【売買、賃貸、管理】
継続して仕事の依頼があるかどうか。【建設機械修理】
建設業界の不振。個人消費の不振。【建設資材】
建設費や修繕費、賃金の値上りが心配。【工場、店舗、マンションの賃貸】
個人消費の低迷。【ビルメンテナンス】
顧客がものを買わなくなった。【療術業、経営コンサル業、卸売業】
顧客の減少。【清掃用具のレンタル業、家事代行業、清掃一般】
顧問先の経営状況(コロナの影響他)。【税理士業】
今期で閉店します。【メキシカンレストラン】
今期は補助金審査が増加し、忙しい。【企業コンサルティング】
今後の見通し。【賃貸管理、斡旋】
今年のはじめには人で不足が甚だしかったが、雇用環境は改善された感じである。【廃棄物処理 再生資源収集・卸売】
今年はコロナのためかハッピや浴衣が0、テレワークで背広やワイシャツも減少、売上が20%ほど減となった。今年度は4月、5月の衣替えでなんとかつなげたが、冬物の衣替えは期待がもてない。【衣服のクリーニング】
再生資源物は価格低迷。【一般産業廃棄物収集業、古紙問屋】
在宅勤務が可能であるとわかった。【税理士業】
時差を置いての不況。【サービス一般】
借入金の返済が先々心配。【税務、経理】
若年者の従業員の定着率が悪い。【清掃】
取引先の担当者がリモートになり、以前より連絡やメールが減りました。実際にプロジェクトが凍結となったものもありました。【金属の鋳造時の凝固シミュレーションソフトの開発、販売】
受注状況からじわじわと新型コロナウイルスの影響が出ている傾向です。【新築、既存住宅防蟻工事、除菌、防カビ、消毒業務】
従業員の精神的不安。【金融、物流】
従業員不足により仕事がまわらない。【産業機械修理業】
消費意欲がない。【保険代理業】
消費者の購買意欲低下。外出の機会が減り、美容にお金をかけない。【マツエク】
消費者の利用激減。【クリーニング】
消費者は個宅での利用が増えている。【個人宅配】
情報が少なくなった。【日用品】
新型コロナウイルスにより、テナントの売上が大きく減少している。今期も賃料値下げに応じているが、今後いつまで値下げ要請が続くか心配している。【貸しビル】
新型コロナウイルスによる取引先業績不振が自社の業績にも影響大。【テナント賃貸ビル】
新型コロナウイルスによる売上不振。【機械部品、鋼材他】
新型コロナウイルスの影響。【人材派遣業】
新型コロナウイルスの影響で営業がしにくい。【不動産賃貸、管理】
新型コロナウイルスの影響で注文が減少している。

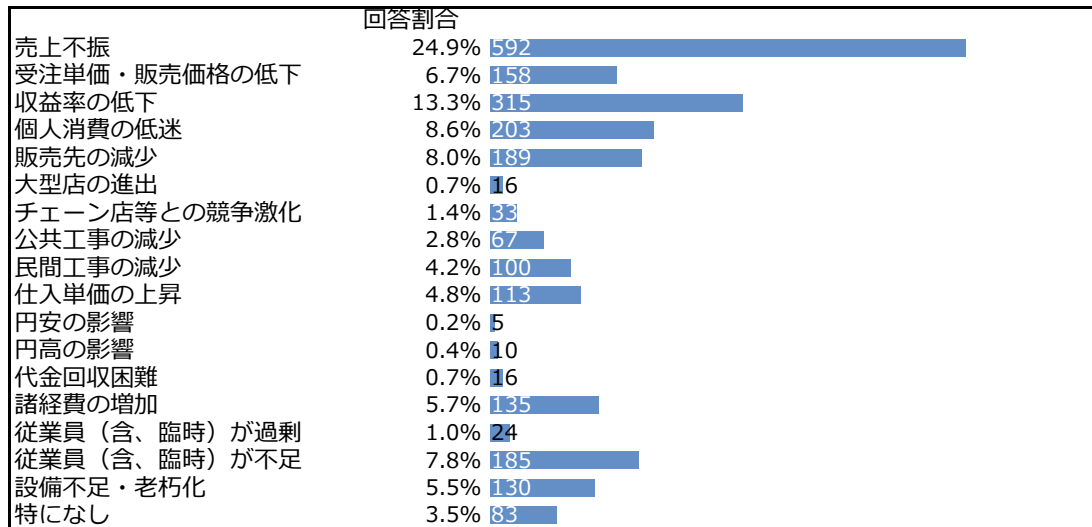
新型コロナウイルスの感染者の増加が止まらず、益々経済の悪化が進み、この先どうなるのかとても不安になります。【美容室】
新型コロナウイルスの収束の兆しが見えない不安。【寿司店】
新型コロナウイルスの終息の目途が立たない限り、すべてにおいて不安要素しかない。【墓石清掃、クリーニング、コーティング、重要文化財等石材特殊清掃】
新型コロナウイルス感染拡大が飲食業界を直撃しています。最悪の状況がしばらく続くと思う。どう乗り越えるのか、不確実性のため予測するのも困難。コロナ終息を待つしかない。
新型コロナウイルス感染拡大に伴う消費低迷。【障害者福祉サービス事業】
新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きい。【廃棄物処理業】
新型コロナウイルス感染症により飲食業や観光業に対して特に支援策が必要。【保証業務】
新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、賃料減免や新規テナント募集の苦戦から売上が減少している。【不動産賃貸管理】
新型コロナウイルス感染症封じが不十分で、見通しが立たない。【製造業を主とした技術コンサルタント】
新型コロナウイルス収束の目途が見えない不安感。【ショッピングセンター管理、運営業務】
新型コロナウイルス対応施策に対する業務(申請等)の増加。【税理士、行政書士】
新型コロナウイルス対策で取引サロンへの研修会の開催ができないため、商品サンプルによる取引先の開拓に営業方法を変更しました。近い将来大きな成果が期待できると考えております。【化粧品および医薬部外品の研究開発および発売】
新型コロナの影響で来店客が少なくなってきました。【頭髪のカット、顔剃り】
親会社の売上低迷。【親会社のシステム運用】
人材不足。【行政書士、社会保険労務士】
人手不足。【弁当注文配達】
人手不足。【地質調査】
政策によって対応も客足も変わるので、先が見通せない。【焼き鳥等居酒屋】
生活スタイルの変化による消費の動向。【廃棄物処理】
積極的な営業体制を取りにくい。【建物管理、ビル清掃業】
設計料の単価が安すぎる。外注先の単価は上がってきていて、他にも自社でできない行政への届け出(キャッシュ、省エネ、景観条例)などで外注費が高まるのに設計料は昔より下がっている。このままでは、設計事務所は減るでしょう。例えば、工事費10億を越える物件などでは我々意匠事務所は営業をしてやっと仕事を取っても、設計料は2%でそのうち外注費が30%彼らは営業しなくても仕事はいってきて、管理もなく手離れが良いのに我々意匠事務所は管理で1年以上手間をとられる【建築設計】
先が読めない不安からの不況感。【学習、子育てアドバイス】
全て今年はコロナ禍のおかげで桜まつり等のイベントなし、宴会禁止が大きく影響している。コロナが続く限り景気は良くなれないと思う。【中華料理】
全体的に不況感が強い。全体的に経済が縮小している感が強い。【食品、自動車部品、雑貨等の配送】
葬儀の小規模化がコロナの影響により進んでいる。【葬儀】
大学のキャンパス閉鎖に伴う、単身世帯向け、アパートの需要の減少が見られる。【賃貸アパート管理】
第三四半期に入り、エンドユーザーが感染症に対して警戒し購入行動の減衰感が顕著に現れてきている。その結果、第四四半期までに感染拡大ニュースが落ち着かないと今期以上の減衰感、後退感が現れる事となります。【不動産買取、再販。賃貸管理。不動産仲介】
中小企業の人材不足。【税理士業】
賃貸料金は下がり気味である。家賃が払えなくなった店舗、事務所が退去し、家賃が下がれば次の新しい入居者が現れるという感じである。【不動産コンサルタント業(権利調整)、不動産仲介業】
当業務上は、昨年と特に変わりない。【社会保険労務士】
当店は人が集まってこそ経営が成り立ちますので、コロナ禍が終わらないと経営は厳しいです。【パーティー、宴会場、レストラン】
特殊な仕事のため、従業員が不足している。【生損保代理業】
内容の良い取引先と悪い取引先の差が激しい。【税理士事務所】
入学生の減少。【教育】
売り上げの減少が続いているが、その減少率は40%台で推移しており、持続化給付金の対象にもならない。このままの状況が次年度も続けば事業継続はできない。【機械部品(材料)、電設製品、舞台装束、他】
売上をなんとか維持で精一杯です。YouTube チャンネルに取り組みたいと考えています。【会計事務所】

売上状況。【和食、そば、うどん、宴会】
売上不振。【不動産売買】
不況感の中、メディア等を通じて安売り競争ばかり。【生、損保業】
不動産に対する購入意識の落ち込み。【不動産】
不動産賃貸が主なので、それほど影響はないが、去年の1/3以下の発注。【不動産賃貸、鍛造製品卸売】
弊社の業務は個人の自宅を訪問して、ケアマネジャーの指示に従ったサービスの提供が義務付けられています。人と人との接触がなくては成り立たないことから、従業員の不足が全てに影響を与えることになります。人手不足解消即ち業務好転に結び付けることになります。この解消法が頭痛のもとです。【訪問介護】
民間工事の減少が特に不況感を覚える。【土地調査測量、建物表題登記、家屋調査】
民間工事の減少で売上が減少。(コロナの影響もかなりある。)
融資が受けにくい。【Web を使ったプラットフォーム事業】
来年度以降、設備投資抑制の影響が出る可能性が大きいと感じています。【ソフト開発】
労働者人口の減少。【工場構内作業請負および人材サービス業】

経営上の問題点

単純集計

経営上の問題点(3つまで回答可、n=1,037)



製造業

今回調査を見ると、「販売先の減少」、「設備不足・老朽化」が増加した。「売上不振」「収益率の低下」「従業員の過剰」などが改善。一方で、「仕入単価の上昇」「従業員が不足」の減少が目立つ。新型コロナウイルス感染症の影響が長引いているため、新規取引の開拓が難しくなったり、設備更新を控えていた影響が出て来始めたものと思われる。

	R1年10～12月期 n=251	R2年1～3月 n=244	R2年4～6月 n=308	R2年7～9月 n=264	今回調査 n=272
売上不振	21.8%	27.2%	32.1%	34.3%	32.4%
受注単価・販売価格の低下	7.1%	7.9%	8.4%	9.0%	6.9%
収益率の低下	12.4%	12.4%	17.3%	17.4%	13.4%
個人消費の低迷	1.6%	4.1%	2.9%	3.4%	3.3%
販売先の減少	4.4%	6.8%	7.9%	7.7%	8.4%
大型店の進出	0.4%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%
チェーン店等との競争激化	0.4%	0.2%	0.0%	0.2%	0.2%
公共工事の減少	1.4%	1.6%	1.4%	1.6%	2.0%
民間工事の減少	1.1%	2.0%	2.6%	3.3%	3.1%
仕入単価の上昇	11.9%	7.5%	3.9%	2.6%	5.0%
円安の影響	0.5%	0.0%	0.4%	0.5%	0.3%
円高の影響	0.2%	1.6%	0.6%	1.0%	0.7%
代金回収困難	0.5%	0.7%	1.1%	0.5%	0.3%
諸経費の増加	7.8%	7.2%	5.0%	4.6%	5.1%
従業員（含、臨時）が過剰	0.7%	1.1%	3.6%	3.4%	2.6%
従業員（含、臨時）が不足	11.0%	6.6%	6.1%	3.8%	4.6%
設備不足・老朽化	13.1%	9.0%	4.6%	5.3%	8.9%
特になし	3.6%	3.9%	2.2%	1.1%	2.6%

経営上の問題点（業種別）

建設業

「収益率の低下」「受注単価・販売価格の低下」「仕入単価の上昇」が増加。「公共工事の減少」「民間工事の減少」はやや減少に転じた。売上の低下傾向は収まったものの、収益性の低下傾向は続いている。

	R1年10～12月期 n=184	R2年1～3月 n=175	R2年4～6月 n=214	R2年7～9月 n=184	今回調査 n=180
売上不振	7.9%	12.7%	19.0%	16.6%	16.6%
受注単価・販売価格の低下	6.2%	8.9%	10.4%	9.9%	11.7%
収益率の低下	12.7%	10.0%	12.6%	10.3%	13.5%
個人消費の低迷	2.9%	6.2%	7.4%	4.1%	4.0%
販売先の減少	2.2%	2.9%	4.1%	3.4%	3.3%
大型店の進出	0.7%	0.2%	0.6%	0.6%	0.7%
チェーン店等との競争激化	0.5%	0.0%	0.0%	1.3%	1.3%
公共工事の減少	7.7%	7.9%	8.9%	12.0%	8.8%
民間工事の減少	7.7%	11.5%	15.2%	15.1%	13.9%
仕入単価の上昇	11.2%	9.1%	3.5%	4.3%	6.6%
円安の影響	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%
円高の影響	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
代金回収困難	1.7%	0.5%	1.1%	1.5%	0.2%
諸経費の増加	10.3%	8.6%	5.5%	4.9%	2.9%
従業員（含、臨時）が過剰	0.5%	0.0%	0.4%	0.6%	0.2%
従業員（含、臨時）が不足	20.6%	16.3%	9.2%	11.8%	12.1%
設備不足・老朽化	2.9%	1.9%	0.7%	1.7%	2.0%
特になし	4.5%	3.3%	1.3%	1.7%	1.8%

小売業・卸売業

「収益率の低下」が増加し「従業員が過剰」「個人消費の低迷」が減少。消費税増税から新型コロナウイルス感染症拡大に至る長引く販売不振に伴い、収益性の厳しい状況が続き、人手が余り気味であることが推察される。個人消費の回復は、業態によって一部消費活動が戻りつつあることが見える。

	R1年10～12月期 n=148	R2年1～3月 n=164	R2年4～6月 n=199	R2年7～9月 n=167	今回調査 n=161
売上不振	17.2%	22.0%	27.0%	24.1%	24.1%
受注単価・販売価格の低下	5.0%	3.6%	5.4%	4.2%	5.1%
収益率の低下	9.4%	11.7%	12.6%	12.2%	13.1%
個人消費の低迷	16.9%	17.7%	18.0%	16.2%	15.6%
販売先の減少	8.1%	7.6%	13.4%	9.0%	12.1%
大型店の進出	3.6%	3.1%	1.2%	2.0%	2.6%
チェーン店等との競争激化	3.9%	3.6%	0.0%	2.2%	2.6%
公共工事の減少	0.6%	0.5%	0.6%	1.2%	1.0%
民間工事の減少	1.1%	1.7%	2.4%	2.5%	1.8%
仕入単価の上昇	11.1%	7.2%	4.0%	7.7%	7.7%
円安の影響	0.3%	0.2%	0.4%	0.5%	0.5%
円高の影響	0.6%	1.4%	0.2%	0.2%	0.5%
代金回収困難	0.6%	1.7%	0.6%	1.2%	0.8%
諸経費の増加	6.1%	7.4%	4.4%	4.7%	3.6%
従業員（含、臨時）が過剰	0.3%	1.0%	0.6%	1.7%	0.0%
従業員（含、臨時）が不足	6.4%	5.0%	5.2%	3.7%	3.6%
設備不足・老朽化	6.1%	1.9%	2.4%	3.5%	3.1%
特になし	2.8%	2.9%	1.6%	3.0%	2.3%

経営上の問題点（業種別）

飲食業・サービス業

「売上不振」は減少に転じたが、「販売先の減少」「収益率の低下」は増加。「従業員が不足」は増加し「従業員は過剰」が減少。GoTo キャンペーンなどの景気対策で一時的に客足は売り上げは下げ止まったが、収益性は回復していないことがわかる。

	R1年10～12月期 n=416	R2年1～3月 n=417	R2年4～6月 n=498	R2年7～9月 n=444	今回調査 n=424
売上不振	15.4%	20.5%	27.1%	26.1%	24.5%
受注単価・販売価格の低下	4.4%	4.5%	5.4%	5.0%	4.6%
収益率の低下	11.8%	13.6%	13.1%	11.8%	13.2%
個人消費の低迷	8.1%	13.4%	13.4%	11.1%	11.2%
販売先の減少	5.0%	5.6%	8.4%	6.9%	8.2%
大型店の進出	0.4%	0.6%	0.3%	0.2%	0.3%
チェーン店等との競争激化	2.8%	2.3%	0.0%	1.4%	1.7%
公共工事の減少	1.3%	1.1%	1.1%	1.7%	1.2%
民間工事の減少	1.2%	1.5%	2.3%	2.4%	1.2%
仕入単価の上昇	8.7%	4.7%	2.5%	3.1%	2.5%
円安の影響	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%
円高の影響	0.1%	0.5%	0.3%	0.1%	0.3%
代金回収困難	1.2%	1.1%	2.2%	1.3%	1.1%
諸経費の増加	12.3%	8.8%	6.5%	8.8%	8.3%
従業員（含、臨時）が過剰	1.1%	1.3%	1.6%	1.6%	0.8%
従業員（含、臨時）が不足	14.0%	10.9%	8.4%	7.7%	9.5%
設備不足・老朽化	7.1%	5.3%	3.7%	6.8%	5.9%
特になし	4.8%	4.2%	3.6%	4.0%	5.4%